

2020年高校教員等入試説明会 質問・要望事項等

岡山大学 高大接続・学生支援センターアドミッション部門

質問・要望事項等	回答
・新生「工学部」について詳しく知りたいです。 ・新生「工学部」の総合型選抜、学校推薦型選抜の実施予定について教えてください。 ・新しい「工学部」の入試、特に学校推薦型選抜について詳しく説明していただきたい。また、工学部のなかの建築系教育というのがどのようなものか（どのようなことを学ぶことができ、どのような資格を取得できるのか）も教えてください。 ・工学部で建築学を学ぶコースが新設されており、卒業後の取得資格として一級建築士（要実務経験）とありました。どの程度の実務経験を要するのか、また、どのような専門領域（研究室）があるのか、分かる範囲でお伺いしたいです。 ・新生「工学部」の内容について、単なる工学部と基礎工学部の融合以外に新たに設定される課程、などについて教えていただければと思います。 ・工学部改組に伴い、一般入試や推薦入試での変更点などがあるでしょうか。 ・工学部の推薦入試は、工学部一括での募集になるのか。	【新生工学部の入試について】 現在の工学部及び環境理工学部を再編・統合して新生工学部とする設置申請を本年4月に文部科学省に提出し、現在、認可待ちの状態です。そのことから、この回答に関しては、あくまで現時点での予定であり、今後、変更となる場合がありますという前提での回答となります。 新生工学部における入試については、学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）及び一般選抜（前期日程・後期日程）、国際バカロレア選抜及び私費外国人留学生選抜を実施します。新生工学部は、学科は「工学科」のみの1学科となりますが、各入学者選抜においては、各系（機械システム系、環境・社会基盤系、情報・電気・数理データサイエンス系、化学・生命系）で募集します。 学校推薦型選抜については、大学入学共通テストを課さず、書類審査及び面接（口述試験を含む。）により選抜します。また、1学校当たりの推薦者数は特に制限をしません。 一般選抜（前期日程）については、大学入学共通テストで5教科7科目、個別学力検査で数学、理科、外国語を課します。機械システム系では、大学入学共通テスト及び個別学力検査において、物理を必修とし、化学及び生物から1科目を選択、その他の系では、大学入学共通テスト及び個別学力検査において、理科は、物理・化学・生物から2科目選択とします。 一般選抜（後期日程）では、全ての系において、大学入学共通テストの外国語が英語に限定される以外は、前期日程と同様です。また、個別学力検査では、全ての系において面接を実施し、入学者を選抜します。一般選抜（前期日程・後期日程）では、出願時に志望する系を第4希望まで申請できます。 なお、現時点で認可時期が不明なため、2021年度岡山大学入学者選抜要項では、既存の工学部及び環境理工学部の状態で記載しています。今後公表予定の2021年度学校推薦型選抜学生募集要項についても、公表当初は、工学部及び環境理工学部の状態で公表し、認可が下り次第、追加の学生募集要項を公表し、新生工学部として学校推薦型選抜を実施するケースも考えられますので、本学のホームページ等で最新の情報をご確認願います。 一般選抜（前期日程・後期日程）の学生募集要項については、公表当初から新生工学部として記載する予定です。 【新生工学部におけるカリキュラム・資格等】 新たな工学部は、Society5.0の実現を通してSDGsへ貢献する「Society5.0 for SDGs」の実践的教育を特色とし、既存の2学部の特長を生かして新たな教育課程を構築します。一年次ではSDGsに関わる科目に加えて、Society 5.0に必須の数理データサイエンスを全ての学生が学びます。さらに、人工知能、ビッグデータ、IoT教育を強化した数理データサイエンスのプロフェッショナルを育成するコースを設けます。 一方、これまで本学になかった建築士育成の教育プログラムなどを設け、入学定員610名という中四国地方最大規模の工学系学部となる予定です。建築士プログラムにおいては通常の建築分野の教育・研究に加えて、県北のCLTの活用を念頭においた木質構造設計や木質材料の研究を行う予定です。 取得できる資格としては、高等学校教諭一種免許状（工業・情報・数学）、中学校教諭一種免許状（数学）、電気主任技術者、安全管理者、ボイラー取扱作業主任者、危険物取扱者（甲種）受験資格、毒物劇物取扱責任者、一級土木施工管理技士受験資格、測量士、一級建築士受験資格、JABEE認定プログラム修了などです。
・工学部学校推薦型選抜について、募集は工学科として一本化して募集されるのか。	認可時期により推薦型選抜の実施方法が異なりますが、選抜実施直前での認可となった場合は、従来の学部で選抜を実施いたします。 認可が下りるのが早かった場合は、新生工学部の系単位で募集をすることとなります。
・工学部の情報系学校推薦型入試の口頭試問は何の教科が問われるか。	口頭試問の内容については公開しておりません。
・工学部は第四志望まで志望できるとのことですが、それぞれで合否が出ると考えてよいのか。	合否に関しては、各系で発表する形になる予定です。

2020年高校教員等入試説明会 質問・要望事項等

岡山大学 高大接続・学生支援センターアドミッション部門

質問・要望事項等	回答
・配布された「2021年度入学者選抜に関する基本方針」冊子では、工学部・環境理工学部の実員が別々に分かれているが、今年度は従来の枠組みで選抜されるのか？（まだ間に合っていないだけなのか？確定はいつでるのか？）	現在、文部科学省に工学部と環境理工学部の統合再編の認可申請をしております。それが許可されれば、新生工学部として募集をする予定です。少なくとも、一般入試では新生工学部として募集することを予定しております。 但し、認可が遅れて、高校へのアナウンスが遅れ、受験生が大きく混乱される場合には、現在の工学部と環境理工学部で選抜を実施することも想定されます。時期は、認可のタイミングに依存いたします。
・新工学部は各系で定員を割って募集され、第4希望まで志望申請ができるとのこと。この取り方は工学科全体で成績順に並べ、総点数の高いものから合格とし、特定の系の定員が埋まったら第2志望の方で合格を出していくというやり方ととらえてよいのか？	詳細は申し上げられませんが、基本的にはそのような方法をとることを想定しています。
・新工学部は、入学後は合格した系に限定されるのか、系を超えての変更はできるのか？できるとしたらどのようなやり方か？	新生工学部でも転系・転コースを認める予定です。
・新工学部の系の中にあるコース別の人数枠を教えてください。具体的には都市環境創成コースは何名か？建築士の免許はこのコースに入れば全員とれるのか？ 進路指導の面からいうとコース内での目安もいただきたいところです。生徒、保護者から「建築士免許を取りたいので、取れる大学を優先的に考えています。」と言われた場合、建築プログラムの定員人数が分からない状況では責任を持って薦めることができません。入学後の選抜によって決まるものなのかどうかも含めて教えてください。	お知らせしている系の募集人数も目安です。従いまして、コースの人数も決定してはおりません。 定員は工学科にだけあり、各系はもとよりコースの定員はありません。環境・社会基盤系では90名を目安として学生を募集します。 環境・社会基盤系における都市環境創成コースには建築プログラムと土木プログラムが設置されますが、どちらのコースに入っても所要単位さえとれば、建築士受験資格が得られます。なので、建築士受験資格を得られる学生さんが極めて少なくなることはないと思われます。 但し、このコースは令和3年度設置されるもので、詳細は未だお知らせできる状況にありません。御理解のほど、お願いいたします。
・新工学部は、なぜ「学科」という名称をとらず「系」としたのか？（履歴書などには「工学科」までの記載となり、系やコースなどは書けなくなるのではないのか）	新生工学部は工学科の一学科で構成します。従いまして、その下にある構成単位は学科ではなく、別の呼び名とする必要があります。 「系」にした大きな理由はありません。強いて言えば、現在工学部の学科名でも馴染みのある「系」になったのかと思われます。
・新工学部の環境・社会基盤系で一級建築士の受験資格も取れるように資料に記載されていますが、6～8月で認可が決定したら正式に受験資格が取れるという認識でよろしいでしょうか？ 今年、建築系志望の生徒が何名かいます。岡大は建築がないから受験大学候補に入っていないという認識を持っています。 生徒には、いつ正式に「岡大も一級建築士の受験資格が取れるようになった」と伝えてよいのでしょうか？	恐らく、今年度中には認可されると思われますので、余程のことが無い限り、令和3年度入学の学生から受験資格が取れることになると思われます。 万が一、認可が遅れて学校推薦型選抜が環境理工学部で受験されたとしても、令和3年度からは新生工学部として講義を開始することになると思われますので、その年の新入生からは卒業時に資格が得られると思われます。
・昨年まであった環境理工学部のセンターあり推薦と工学部のセンター無し推薦に関してですが、現時点では昨年と同様に環境理工と工学部に分かれて募集するという形でしょうか？本予備校の浪人生が受験できるのは環境理工のセンターあり推薦だけなのでこちらが受験できなくなるのかが気になるところです。 認可が下りたら今年からこちらのセンターあり推薦の環境理工の募集はなくなってしまうのでしょうか？ 現状の工学部は現役のみ、環境理工は浪人も可なのですが、統合されて新工学部になった際に浪人生が受験できる工学部系のAO、推薦入試がなくなるのではないのかという懸念事項があります。	認可されれば、新生工学部として学校推薦型選抜を実施し、環境理工学部としての募集は行いません。 未だ、その辺りの詳細までは決っていないと思われます。 ただし、現在の工学部方式が新生工学部でも採用されると、気の毒ですが、ご懸念のことは現実のこととなるかと思われます。

2020年高校教員等入試説明会 質問・要望事項等

岡山大学 高大接続・学生支援センターアドミッション部門

質問・要望事項等	回答
・2021年度入試で、グローバルディスカバリープログラムの試験内容に変更はありますか。 ・グローバルディスカバリープログラムの日本の生徒が提出する書類(自己推薦書)の様式をWeb上で探しているのですが見つかりません。昨年度の募集要項で記載されていたURLを入力すると、海外から出願する場合の様式にリンクが貼ってあります。日本からの出願でも同じ様式を使いますか。また様式をワードではなく、PDFでアップロードしていただけると幸いです。 ・グローバルディスカバリープログラムへの入学審査に関して:規定等に変更がないか、IBDP履修生の入学審査の規定に関して	昨年度2年前予告を行い、今年度の入学者選抜から実施方法を変更します。出願時に文系か理系をしていただき、出願していただきます。ここでいう文系・理系については、高等学校での文系・理系の選択ではなく、入試をどちらで受験するかという意味です。 文系・理系とも、書類審査による一次選抜を行います。一次選抜は文系34名程度、理系20名程度を超えた場合に実施することとし、その後、最終選抜では、文系は記述問題(英語)、口述試験(文章読解)、プレゼンテーション及び個人面接(口述試験を含む。)を実施します。理系の最終選抜は、記述問題(英語)、記述問題(理系)、プレゼンテーション及び個人面接(口述試験を含む。)により実施します。 なお、文系・理系とも、英語資格・検定試験の成績で、CEFRとの対照表におけるB2レベル以上の成績を提出した場合には、記述問題(英語)の成績を満点と見なし、記述試験(英語)の試験を免除します。 また、合格者の決定に際しては、文系での受験者から17名程度、理系での受験者から10程度を合格者とし、それぞれの合格者数が目安に満たなかった場合には、他方の系に含めて合格者を決定します。 自己推薦書等の書類については、現時点では今年度の様式はまだ掲載していません。PDF形式の掲載についても併せて掲載する方向で検討いたします。
・グローバルディスカバリープログラムの入試について 英語資格・検定の成績の提出となっていますが、過去〇年間以内の取得等、条件はあるでしょうか。 ・貴校受験の際に英語能力検定試験の資料としてTOEFLのスコアを要求された場合、今年度は特別措置としてSpecial Home Edition という自宅受験のバージョンがありますが、こちらを正式なスコアとして採用していただければと思っています。また、紙ベースの公式スコアの郵送が再開はされたものの、今後の状況では紙のofficial Score Reportの送付が不可能になる場合も出てくるようにも思います。以上二点についての取り扱いについて教えていただければと思います。 ・今後の英語資格の利用予定 を教えていただけたらありがたいです。 グローバル・ディスカバリー・プログラムの英語資格・検定の成績は、中学3年で取得したものでもよいか。	グローバル・ディスカバリー・プログラムの入試については、ディスカバリー入試と国際入試があります。ディスカバリー入試・国際入試ともに、今年度実施する入試の場合、2018年9月以降に受験した英語資格・検定試験の成績を有効としています。その関係から、GTECについては、4技能オフィシャルスコア証明書のほか、2019年3月までに受験したGTEC4技能スコアレポートも有効としています。 それ以外の学部・学科における特別選抜については、2019年4月以降に受験した英語資格・検定試験で、大学入試センターが認めた試験及びTOEIC L&RとTOEIC S&Wの両方の試験結果を提出できる場合としています。 本学では、全学部・学科(グローバル・ディスカバリー・プログラムを含む。)において、入試に活用する英語資格・検定試験については、大学入試センターが認定した試験及びTOEIC L&RとTOEIC S&Wの両方の試験結果を提出できる場合を有効としています。したがって、TOEFL iBT Special Home Editionについては、大学入試センターが認めた試験ではないため、対象となりません。今後、大学入試センターが認めた試験となれば、本学においても活用することとなります。 また、今後の英語資格・検定試験の利用予定については、現在、文部科学省において検討されている結果を見て、改めて本学の対応を検討することとなります。
・英語資格・検定試験の提出は農学部とグローバル・ディスカバリー・プログラム以外は提出が任意ですが、任意の取り扱いについて詳しく教えてください。	取り扱いについては一律に決まっておらず、各学部により異なります。
・英語資格・検定試験の iBT Special Home Editionの自宅で受験できるものができたが、使用できるか。 成績証明書の原本ではなくデジタルで送付してもよいか。	TOEFL iBT Special Home Edition大学入試センターの認めた試験ではないため、本学指定の試験とは認められません。 また、デジタルでの提出ですと実施団体から送られてくることになりますが、成績証明書等の応募書類は受験者本人により送付していただく必要がございます。
・英語資格・検定試験で任意提出のものがありますが、提出により有利、不利などはあるでしょうか。	任意提出の学部の利用方法については、学部学科により異なっているためお答えすることができません。 試験結果を持たれている場合は、提出されたほうが有利かと思われます。
・英語資格・検定試験の有効な種類について、英検の二日にわたって実施するものも有効とするものというのは、従来型の1次試験、2次試験を別日程で受験したものか。もしくは、技能別に別日程で受験するものか。	従来型の1次試験と2次試験が別日程のものです。
・グローバル・ディスカバリー・プログラムの英語資格・検定試験の有効期間についてですが、中学校3年生時に取得したものでもよいか。	大学全体としては本学を受験する前年度の4月以降のものとしておりますが、グローバル・ディスカバリー・プログラムの試験に関しては、今年度入試に利用できるのは2018年9月以降に取得したものとしております。 詳しくは「入学者選抜に関する基本方針」の31ページをご確認ください。

2020年高校教員等入試説明会 質問・要望事項等

岡山大学 高大接続・学生支援センターアドミッション部門

質問・要望事項等	回答
・推薦選抜などで、eポートフォリオを判定材料として使用するのかどうか。 また使用する場合、加点なのか、参考資料なのかなど、活用の、方法を聞きたいです。	本学が実施する入学者選抜においては、特別選抜・一般選抜を問わず、eポートフォリオの利用予定は現時点ではありません。これは、全ての受験者が公平に利用できるシステムでないことや、あくまで自己申告の域を脱していない点など、入学者選抜に活用するには問題点等が多すぎるためです。 なお、現在、文部科学省で検討されている電子調査書については、その結果次第では本学の入学者選抜における利用についての検討対象となるでしょう。
・e-ポートフォリオは使用しないとなっているが、推薦書、志望理由書などは紙媒体での提出で変わりないか。	昨年度までと変更はございません。
・これからの貴学の入試における学校作成の調査書の取り扱いについて、ご教授ください。実質的にHR担任が作成する調査書のどの部分が、合否判定に影響を与えるのか、気になります。 ・調査書の極めて優れたところとは具体的にはどのようなものか。 ・調査書の利用について、他大学では点数化していたがそれを中止すると発表がありました。岡山大学では取り扱いに変更はあるか。議論状況を教えていただきたい。	総合型選抜や学校推薦型選抜における調査書の取り扱いについては、これまで同様、学部・学科ごとに異なりますが、書類審査の対象としたり、面接や最終合格者決定の際の参考資料等として活用します。 一般選抜においては、すでに公表しているとおり、「学修状況の極めて優れたところを評価することとし、最終的な合格者の決定の際の資料」として活用します。 なお、本学では高等学校において特に調査書に記載していただく具体的な事項は指定しません。
・調査書の書式が今年度から変更となり、A4サイズで6枚程度となったが、提出の際にA3サイズもしくはA4両面など、様式の指定はあるか。	特に指定はありませんので、各高等学校で作成したものを提出してください。
・新入試について従来との変更点を詳しく知りたいです。 ・新入試への対応の詳細をお聞かせください。 ・入試選抜の変更点（特に総合型選抜、学校推薦型選抜の具体的内容） ・総合型選抜入試や一般選抜入試に関して、昨年度との変更点はありますか？貴校へ受験を希望している生徒は法学部を第一志望としていますので、法学部に関連することを重点的にお教え願えればと思っています。	令和2年6月19日付けで通知のあった文部科学省からの「令和3年度大学入学者選抜実施要項」を受け、再度、検討中です。確定次第、本学ホームページにおいて公表しますので、ご確認願います。現時点で確定している内容としては、大学入学共通テスト外国語（英語）におけるリーディングとリスニングの配点についてのみとなります。大学入試センターでは、昨年度までの大学入試センター試験における筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）を、今年度の大学入学共通テストでは、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）に変更し、各大学に成績を提供することとなっています。しかし、本学では、特別選抜・一般選抜を問わず、大学入学共通テストにおける外国語（英語）については、大学入試センターから提供された成績を、リーディング×1.6とリスニング×0.4の合計点を、各学部・学科の配点に換算することとしています。これは、これまでに多くの高等学校の先生方の意見をお聞きしたうえで決定したもので、英語の4技能の能力は大変重要なものと考える一方で、大学入試センターの配点のまま利用すると、リスニングに関する比重があまりにも大きくなりすぎてしまうというのも理由の1つです。 また、本学が実施する個別学力検査等に関する変更内容については、説明資料の2～12ページに今年度の入試の変更点を、14～17ページに来年度以降の変更点をまとめているので、ご参照願います。
・今般の新型コロナウイルスにより、緊急事態宣言が出た所（特別警戒区域の出た所）と出てない所で多少の教育格差が生じていると思われるが、入試において配慮はあるか。（何かしら検討されているか。） ・長期間にわたる休校となりましたが、2次試験等において、今年度の出題範囲は今まで通りの予定なのでしょうか？ ・新型コロナウイルスにより、今後実施する試験の試験会場や出題範囲に関して変更はあるのか。	文部科学省からの「令和3年度大学入学者選抜実施要項」の通知に従い、出題範囲を限定することについて検討中です。 今後、公表予定の入学者選抜要項や、2021年度岡山大学一般選抜学生募集要項や本学ホームページ等で最新の情報をご確認願います。
・教育学部の実技を録画等で行う可能性はあるか。	文部科学省からの「令和3年度大学入学者選抜実施要項」の通知に伴い検討中です。今後公表する入学者選抜要項や各種学生募集要項及び本学ホームページ等で最新の情報をご確認願います。

2020年高校教員等入試説明会 質問・要望事項等

岡山大学 高大接続・学生支援センターアドミッション部門

質問・要望事項等	回答
・総合型入試の詳細(昨年度結果含む)について知りたいです。 ・学校推薦型選抜、総合型選抜についての情報をお願いできたらと思います。 ・教育学部の「岡山県北地域教育プログラム」について詳しくお聞かせください。 ・総合型、学校推薦型選抜の実施要項に関すること(特に、日程について)お聞かせください。 ・医学部医学科の推薦(地域枠)について	各選抜の詳細については、説明会資料の「2021年度入学者選抜に関する基本方針」や、今後、公表予定の「2021年度岡山大学入学者選抜要項」等をご覧ください。 なお、説明会資料の表紙にも記載しておりますが、文部科学省からの「大学入学者選抜実施要項」の通知に伴い、試験日程や選抜方法等を含め、今後、変更になる場合がありますので、今後、順次公表します各選抜の学生募集要項や本学のホームページで最新の情報をご確認願います。
・昨年度の推薦AO入試の詳細な資料をくださいますようお願いいたします。	お配りしております「2020年度入学者選抜実施状況」をご覧ください。
・総合型選抜、学校推薦型選抜の時期について ・入試の日程、推薦条件等の変更について、詳しく知りたいです。 ・入試日程の確定時期はいつ頃でしょうか。	現状では、昨年度までと同様の日程での実施を予定しています。 ただし、文部科学省の「大学入学者選抜実施要項」の通知や、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、本日お配りしている「2021年度入学者選抜に関する基本方針」や、今後公表予定の入学者選抜要項・各学生募集要項に記載している試験日程等から変更する場合がありますので、本学のホームページで最新の情報をご確認願います。
・推薦入試の学部ごとのポイント等を教えていただけたらありがたいです。	学校推薦型選抜学生募集要項に記載しているアドミッション・ポリシーをご覧くださいほか、志望される学部へ直接お問い合わせ願います。
・推薦入試の実施内容に変更はあるでしょうか。	内容に変更はございません。
・教育学部岡山県北地域プログラム入試について、県外の生徒が不利になることはあるか。 ・教育学部岡山県北地域教育プログラムも3年目になりました。令和2年度入試の結果として、岡山県北地域以外のエリアから合格した学生の割合をご教授ください。	県外の生徒が不利になるような取り扱いはございません。 2020年度入試での結果では、合格者20人中、県外出身者が4人、岡山県北の高等学校出身者が12人でした。
・教育学部県北プログラムでの合格の場合、地域教育専修への配属はどの程度束縛されるものなのか？(「希望に基づき」と書いてあるため、希望しなければ地域教育専修以外でもよいのか？)また教員採用試験の受験先にも強制力が働くものなのかどうか？	岡山県北地域プログラムの入試による学校教育教員養成課程の入学者は、学生募集要項に記載のとおり小学校教育コース又は中学校教育コースの地域教育専修に希望等に基づき所属することになります。従って、地域教育専修以外の専修は選択できません。 なお、岡山県北地域プログラムの入試は、出願資格を「卒業後、岡山県北地域で学校教員として教職に就き、学校のみならず地域社会に貢献しようとする強い意志を有する者」としていますので、この点にご留意ください。
・一般選抜教育学部のペーパーインタビューとは口頭試問のようなものか。	現在面接を実施していますが、その代わりと考えていただければ結構です。
・IB入試について、どのような状況になりそうかお聞きしたいです。	本年5月に予定されていた最終試験が中止されたことに伴い、現状では、昨年度まで実施していた10月募集のみの実施を考えていますが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、入試日程等について変更となる場合がありますので、本学ホームページ等により最新の情報をご確認願います。 また、来年度以降の国際バカロレア選抜では、数学のカリキュラム変更がありますが、本学の国際バカロレア選抜では、各学部・学科の必要度に応じて、これまでどおりHLまたはSLの指定とその成績評価を限定するのみとし、科目については指定する予定はありません。

2020年高校教員等入試説明会 質問・要望事項等

岡山大学 高大接続・学生支援センターアドミッション部門

質問・要望事項等	回答
・IB入試に関しての話をお聞かせください 今年のIB試験はご存知と思いますが、日本人にとって得意な当日テストがなくなってしまい、どのような点数がつくのかまったくわかりません。岡山大学さんはどのような対応をお考えなのかをお教えいただけるとありがたいのですが(生徒の進学指導の立場上からの質問です)	新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、5月に実施予定であったIB最終試験が中止となり、本学としてもこれまで信頼してきたIBの成績について、いささかの不安を感じています。本学としての今年度の対応としては、これまで実施してきた8月募集を実施せず、今年度に関しては10月募集のみとすることとしました。完全な問題の解決にはなりませんが、公平・公正であるべき入学者選抜の主旨からのご理解いただければと考えます。
・私は5年前(2015年)12月に次期入試改革の試行問題(「日本、中国、韓国の3カ国の関係について」、「エセ科学とは」)を解くアルバイトをさせていただきました。以前行ったその試験は今後の岡山大学の入試にどのように反映されたのかやあるいはどう関係しているのかについて教えていただければ幸いです。	本学が実施する入学者選抜における出題傾向や出題形式について、今年度実施する入試から大きく変更する予定はありません。これまで同様、しっかりと知識・技能を測ったうえで、記述式問題等により思考力・判断力・表現力を測ることとしています。 なお、六大学の小論文模擬テストについては、現在研究中のため今年度の出題に影響はありません。
・入試および在学するにあたって求められる(必要な)基礎学力はどれくらいか。	各学生募集要項に記載しているアドミッション・ポリシーをご覧くださいほか、志望される学部へ直接お問い合わせ願います。
・貴学が開催しているイベント等も教えていただけたらと思っています。	本学で実施予定の高大連携事業(大学訪問・講師派遣、高校生のための大学講座、公開講義)については、本学のホームページを参照願います。 URL: https://www.okayama-u.ac.jp/tp/prospective/index.html
・緊急事態宣言が一部地域で解除されたことを踏まえて、今後オープンキャンパス等を実施する予定はありますか？ ・9月以降にオープンキャンパス見学は可能なのか？個別に進路相談には応じてもらえるのか？以上2点を教えてください。 ・オープンキャンパスの代替案は何かお考えでしょうか。	オープンキャンパスについては、すでにお知らせしておりますとおり今年度の本学キャンパス内での実施の予定はありません。代替策として、webオープンキャンパスの開催に向けて準備を進めております。 また、webオープンキャンパスの中で、E-mailを活用しての質疑応答も予定していますので、ご活用願います。
・SDGsの現状と今後の展望を教えていただけたらありがたいです。	岡山大学は、ESD(持続可能な開発の教育)に引き続き、SDGsも全学を挙げて推進しています。これまでの取組が評価され「ジャパンSDGsアワード」特別賞も受賞しました。 また昨年度より、新入生全員を対象とした科目「岡山大学入門講座」の中で「岡山大学×SDGs入門」という講義を開始するとともに、「岡山大学SDGs学生アンバサダー」任命制度も新設しました。その他、教職員のみならず学生による様々な取組も行っていますので、ホームページをご覧ください。」
・特別選抜や一般選抜で、SDGsを意識した問題が出されるのですか。	岡山大学でのSDGs活動のますますの発展に向け、本学の学校推薦型選抜や総合型選抜などの特別選抜において、SDGsの視点からグローバルな課題を見通し、解決への道筋を考える出題を含めた入試を実施します。(一般選抜では特に今までの傾向と変更はありません。)
・SDGs入試は、SDGsの知識がないと答えられないような問題が出題されるのか。	特別選抜について、SDGsの視点からグローバルな課題を見通し、解決への道筋を考えるような出題を行うという趣旨であるため、SDGsの知識を問う問題ではありません。
・アドミッションポリシーの改正は、今年度の試験問題の出題にどの程度関係するのか。	アドミッションポリシー改定の適用は、来年度実施する入試から適用することを考えております。 なお、資料にある学力の3要素対応表については、各選抜において各学部学科が選抜ごとに学力の3要素のどこを重視するのかを表にしたものとなる予定です。